

**METAL
WEAR**

MO

**FireWire 800/400
USB2.0/1.1**

FireWire 800 MO Disk Drive

METALWEAR series

User's Manual

ご注意

- 1) 本製品と本書は、ヤノ電器株式会社の著作物です。当社の著作物の一部または全部を、当社に無断で複製し、複写し、転載し、改変することは、法律で禁止されています。
- 2) 本製品と本書は、改良のために内容を予告せずに、変更する場合がありますのでご了承ください。
- 3) 本製品は、法律で定める戦略物資等輸出規制製品に該当する場合がありますので、本製品の輸出あるいは国外への持ち出しにはご注意ください。
- 4) 本製品は、日本国内でご利用いただくように設計、製作されています。国外でのご使用に関しては、当社は責任を負いかねます。国外へのサポート、アフターサービスはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 5) 本製品を使用して、作成し、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合には、当社は理由の如何にかかわらず保証いたしかねます。ご必要なデータはあらかじめバックアップされることをお奨めいたします。
- 6) 本製品もバックアップし、ご自分で保有される場合に限って、一部のみ複写することができます。
- 7) 本製品のソースコードをお客様に開示し、ご使用を許諾することはありません。本ソフトウェア製品の解析、逆アセンブル、逆コンパイル、またはリバースエンジニアリングを禁止しております。
- 8) 本書に記載のない、あるいは本書に記載された内容と異なる操作によって生じた、どのような事故、損害に関しても、当社では責任を負いかねます。
- 9) 本製品は、医療など人命にかかわる機器、航空機、原子力、輸送など高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器としての使用、あるいはこれらの機器や設備に組み込んで使用されることは考慮しておりません。このようなご利用によって生じた、どのような事故、損害に関しても、当社では責任を負いかねます。
- 10) 本製品および本書の内容について、ご不審な点や、お気付きの点がございましたら、当社カスタマサポートまでご一報くださいますようお願い申し上げます。

FireWire 800 対応 3.5 インチ光磁気ディスクドライブ

FireWire 800 MO Disk Drive

METALWEAR series ユーザーズマニュアル



はじめに

このたびは、弊社製 FireWire 800 対応 3.5 インチ光磁気ディスクドライブ **METALWEAR シリーズ 2.3GB / 1.3GB / 640MB MO ドライブ**をお買い上げいただきありがとうございます。

本製品をコンピュータに接続して使用するためには、いくつかの準備作業が必要です。このマニュアルを読んで正しく作業を行ってください。また、作業が完了したあとも、このマニュアルは大切に保管してください。

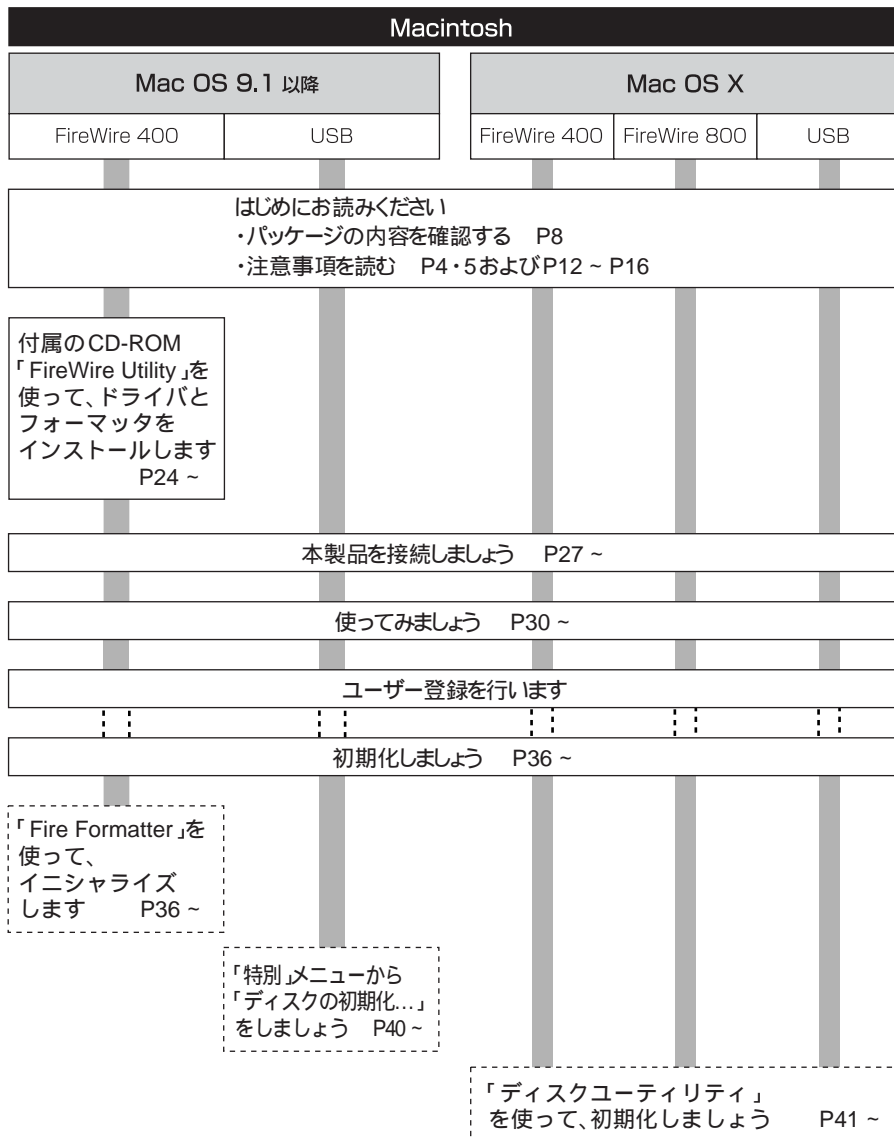
このマニュアルに記載されている画面上の表示等は、お使いのコンピュータのシステムの設定やバージョンによって、見え方が異なる場合があります。

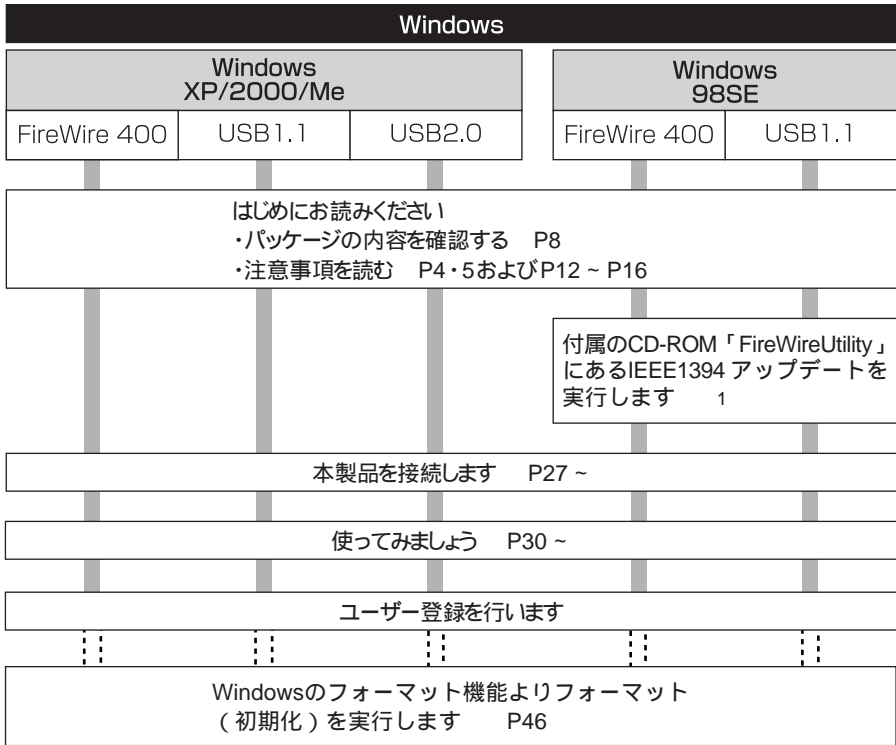
マニュアルの本文中の記号について

 注 意	操作上、非常に大切なことを説明しています。注意事項を守らないと、重大なトラブルが発生し、データが失われることがあります。
 MEMO	操作にあたって気にとめていただきたいことを説明しています。操作の参考にしてください。

METALWEAR シリーズ導入の流れ

本製品をコンピュータに接続して使用するためには、いくつかの準備作業が必要です。
お使いのコンピュータ・OSに合わせて進んでください。







- 1 本製品に付属のCD-ROM「FireWire Utility」にある「242975JPN8.EXE」を実行してください。詳しくは添付の「ReadMeFirst.txt」をお読みください。

安全にお使いいただくために

ケガや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警告



本製品の取り付け、取り外しの時は、必ずコンピュータ本体の注意事項に従ってください。



本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。



本製品に付属の ACアダプタ以外のアダプタを使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。



本製品やコンピュータ本体から煙が出たり異臭がした時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



本製品やコンピュータ本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やコンピュータ本体を使用しないでください。

火災や感電、故障の原因になります。



注 意



本製品の取り付け、取り外しの時は、慎重に作業を行ってください。強引な着脱は、機器の故障や、ケガの原因になります。



本製品やコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。

- ・ 不安定な場所
- ・ ホコリの多い場所
- ・ 振動のある場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 高温 / 多湿な場所
- ・ 衝撃のある場所
- ・ 強い磁気の発生する場所



長期間、本製品やコンピュータ本体を使用しない時は、電源プラグを抜いておいてください。

目次

はじめに	1
METALWEAR シリーズ導入の流れ	2
安全にお使いいただくために	4

Chapter 1 準備

1. パッケージの内容を確認しましょう ...	8
2. 本製品の概要について	9
・本製品の特長	9
・動作環境について	10
3. お使いになる前に	12
・FireWire および USB で接続する際の 注意事項・制限事項	12
・FireWire で接続する際の 注意事項・制限事項	14
・USB で接続する際の 注意事項・制限事項	16
・Mac OS X で使用する際の 注意事項・制限事項	16
4. 各部の名称とはたらき	17
5. 設置について	20
・縦置き用スタンドの取り付け方	20
・横置きにする時	21

Chapter 2 本製品を使用する

1. Mac OS 9.1 以降にソフトウェアを インストールしましょう	24
・Mac OS 9.1 以降に インストールする	24
2. 接続しましょう	27
・Windowsマシン(PC/AT互換機)を ご使用の場合	27
・コンピュータと接続する	28

3. 使ってみましょう	30
・電源の入れ方/切り方	30
・光磁気ディスクを挿入する	31
・光磁気ディスクを取り出す	33
・Windows で本製品を取り外す	34
・光磁気ディスクを強制排出する	35
4. 初期化しましょう	36
・Mac OS 9.1以降で「Fire Formatter」を 使ってイニシャライズする	36
・Mac OS 9.1以降で USB 接続で初期化する	40
・Mac OS Xで「ディスクユーティリティ」 を使って初期化する	41
・Windows でフォーマットする	46
5. 対応する光磁気ディスクについて ...	48

Chapter 3 付録

1. Mac OS 9.1以降で「Fire Formatter」を お使いの場合のエラーメッセージと対処方法 ...	52
2. こんな時には	54
3. サポートとサービスのご案内	58
・カスタマサポートのご案内	58
・オンライン情報 提供サービスのご案内	58
4. 製品仕様	59

Chapter

1

準 備

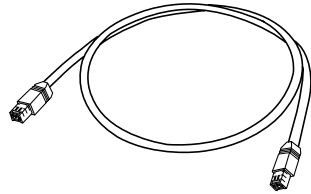
Chapter 1 では、本製品を使用する前に、知っておいて
いただきたいことを説明しています。

本製品のパッケージには、下記のもが入っています。お使いになる前に、必ず内容をご確認ください。不足品や破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社カスタマサポートへご連絡ください。☎ P58「サポートとサービスのご案内」

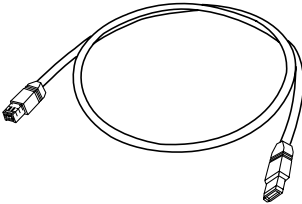
- ・METALWEAR シリーズ
MODドライブ 本体 1台



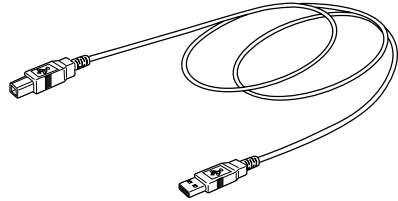
- ・ FireWire(IEEE1394)ケーブル
(9pin 9pin) 1本



- ・ FireWire(IEEE1394)ケーブル
(9pin 6pin) 1本



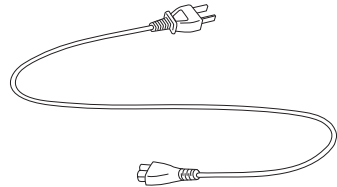
- ・USB ケーブル 1本



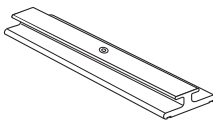
- ・ACアダプタ 1個



- ・電源ケーブル
(ACアダプタ用) 1本



- ・縦置き用スタンド 1個



- ・横置き用ゴム足 4個



- ・スタンド固定用ネジ 1本

- ・CD-ROM「 FireWire Utility」 1枚

- ・ユーザーズマニュアル(このマニュアルです) 1冊

- ・保証書、ユーザー登録カード 各1部

2 本製品の概要について

本製品の特長

最新の高速インターフェイス、FireWire 800 対応
従来の FireWire 400 の2倍、USB2.0 と比較しても約 1.7 倍（理論値）の転送レート 800Mb/s を誇る高速インターフェイス FireWire 800 に対応。
Macintosh に新たなストレージ環境を提案します。

高速ドライブ & 高性能コントローラボード採用
5,455rpm の高速ドライブを採用。
高性能コントローラボードとの組み合わせにより、FireWire 800 の性能を十分に引き出し、ビジネスやクリエイティブなどの高い要求に応えます。

マルチインターフェイス対応（FireWire 800/400、USB2.0/1.1）
FireWire 800 に加え、FireWire 400、USB2.0、USB1.1 にも対応。4 つのインターフェイス対応により、幅広い環境で使用できます。
また、FireWire 800 専用ケーブル（9pin-9pin）、FireWire 400 への変換ケーブル（9pin-6pin）、USB 用ケーブルを標準で付属しています。

重厚感あふれるシャープなデザインのフルアルミボディ
分厚いアルミを全面にまとった重厚感あふれるボディを採用。側面の厚さは 2.5mm あり、高い剛性と優れた放熱性を確保すると同時に振動を抑える効果があります。また、直線を基調としたスタイリングに表面仕上げの異なる 2 トーンの加工を施し、落ち着きとシャープさを演出。Power Mac G4 や AV 機器などが並ぶハイエンドな空間にもほどよくマッチするデザインです。

Macintosh & Windows 対応
最新の Mac OS X や Windows XP にも対応。幅広いプラットフォームでお使いいただけます。

FireWire コネクタ（9pin）を 2 ポート搭載
FireWire コネクタ（9pin）を 2 ポート搭載しています。本製品の電源を ON にしていれば、デジチェーンでの接続も可能です（4 台まで）。

動作環境について

本製品は、下記の環境に対応しています。

Macintosh シリーズ

FireWire 800

対応機種	FireWire 800ポートを標準で搭載するMacintoshシリーズ または弊社製FireWire 800インターフェースカードを装備した Power Mac G4(AGP Graphics 以降)
対応システム	Mac OS X 10.2.4 以降

FireWire 400

対応機種	FireWire 400ポートを標準で搭載するMacintoshシリーズ < Power Book G3(FireWire)には対応していません。 >
対応システム	Mac OS 9.1 以降 / Mac OS X 10.1.5 以降

USB

対応機種	USBポートを標準で搭載するMacintoshシリーズ < Power Book G3(Bronze)には対応していません。 >
対応システム	Mac OS 9.1 以降 / Mac OS X 10.1.5 以降

USBの対応機種については、FireWireポートを標準で搭載していない機種のみ動作確認を行っています。FireWireポートを標準で搭載しているMacintoshについては、FireWireポートでお使いください。

このマニュアルでは「Mac OS X 10.2.4 以降」および「Mac OS X 10.1.5 以降」のことを総称して「Mac OS X」と記載しています。

Windows マシン (PC/AT 互換機)

IEEE1394.b

対応機種	弊社製FireWire 800インターフェースカードを装備したPC/AT互換機 1 で、下記の対応システムがプリインストールされたモデル
対応システム	IEEE1394 バスコントローラの OHCI ドライバが動作している 1 Windows XP

IEEE1394.a / i.LINK

対応機種	IEEE1394.α (i.LINK)ポートを装備した PC/AT互換機 1 で、下記の対応システムがプリインストールされたモデル
対応システム	IEEE1394 バスコントローラの OHCI ドライバが動作している以下のシステム 1 Windows 98 Second Edition(SE) 2 / 2000 / Me / XP

- 1 Windows マシンでお使いの場合は、必ず IEEE1394 バス コントローラのドライバ「OHCI」が必要です。IEEE1394 CardBus PC カード、IEEE1394 PCI ボードをお使いの場合は、搭載するコンピュータに対応していることをご確認ください。
- 2 Windows 98 SE でお使いの場合は、IEEE1394 デバイスドライバのアップデートを行ってください。アップデートを行うことにより、安全に IEEE1394 機器を取り外すことができ、IEEE1394 ドライバのパフォーマンスが向上します。アップデートは、付属の CD-ROM 「FireWire Utility」の中に収録されていますのでご利用ください。

USB 1.1 / 2.0

対応機種	USB2.0 もしくは、USB ポートを装備した PC/AT 互換機で、下記の対応システムがプリインストールされたモデル
対応システム	Windows 2000 / Me / XP

Windows 2000 については、Windows 2000 Professional で動作確認を行っています。
Windows XP については、Windows XP Home Edition で動作確認を行っています。

3 お使いになる前に

本製品をご使用になる場合は、以下の点に注意してください。
また、接続されている環境に合わせて、各注意事項をお読みください。

FireWire および USB で接続する際の注意事項・制限事項

本製品を導入するための作業を始める前に、必ず P4「安全にお使いいただくために」をお読みください。

本製品は安定した場所に設置してご使用ください。モニターやコンピュータ本体の上など不安定な場所で使用すると、落下の恐れがあり、故障の原因となります。

タバコの煙の粒子が本製品のドライブ内部やディスク表面に付着すると、故障の原因となります。本製品の近くでの喫煙はご遠慮ください。同様に、チリやホコリの多い場所では使用しないでください。

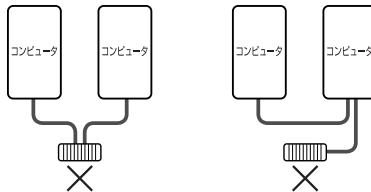
本製品が汚れた場合は、柔らかい布でふいてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤液に柔らかい布を浸し、固く絞ってから汚れをふき取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤は使用しないでください。

本製品は AC アダプタが必要です。AC アダプタは、必ず本製品専用の AC アダプタをお使いください。他の製品用のものを使用すると、破損や故障の原因となります。また、本製品専用の AC アダプタを他の製品で使用すると、破損や故障の原因となります。

本製品を使用する場合は、必ず付属のケーブルを使用してください。また、他の製品に本製品の付属品を使用しないでください。破損や故障の原因となります。

本製品の FireWire ポートと USB ポートを同時に使用しないでください。データが失われたり、本製品が故障する恐れがあります。

本製品に対して2台以上のコンピュータを接続しないでください。コンピュータを使用できなくなります。



ご使用の環境によっては本製品をコンピュータに接続し、光磁気ディスクを挿入してからマウント(アイコンが表示)されるまでに数十秒かかる場合があります。

本製品は起動ディスクに設定することはできません。

本製品は仮想メモリのディスクに設定することはできません。

本製品に対して初期化を実行すると、データはすべて消去されます。消去されたデータを元に戻すことはできませんので、十分ご注意ください。

Mac OS 9.1以降で本製品に対してイニシャライズを行う場合、FireWireおよびUSBインターフェイスの機器は、本製品1台のみがコンピュータに接続されている状態で行ってください。FireWireおよびUSBの機器が2台以上接続されていると、目的の機器以外のデバイスがイニシャライズされることがあります。

パーティションについて

- ・ Mac OS 9.1以降でFireWireポートに接続している場合

本製品はマルチパーティションの光磁気ディスクに対応しており、複数のボリューム（パーティション）がある光磁気ディスクを本製品に挿入すると、第5ボリュームまでデスクトップにマウントされます。

ただし、本製品に付属の「Fire Formatter」にはパーティションを設定する機能はありません。複数のボリュームでご使用の光磁気ディスクを「Fire Formatter」でイニシャライズ（初期化）すると、すべてのボリューム内のデータは消去され、光磁気ディスクの最大容量の単一ボリュームになります。消去されたデータを元に戻すことはできませんので十分ご注意ください。

- ・ Mac OS X の場合

マルチパーティションの光磁気ディスクに対応しています。システムに標準で用意されているアプリケーション「ディスクユーティリティ」を使って複数のパーティションを作成することができます。パーティションの作成を行うと、ボリューム内のデータは消去されます。消去されたデータを元に戻すことはできませんので十分ご注意ください。弊社では、光磁気ディスクを単一ボリューム（1パーティション）でお使いになることを推奨します。

- ・ Windows でお使いの場合

単一ボリューム（パーティション）のみ対応しており、マルチパーティションには対応しておりません。フォーマットを行うと、すべてのボリューム内のデータは消去され、光磁気ディスクの最大容量の単一ボリュームになります。消去されたデータを元に戻すことはできませんので十分ご注意ください。

コンピュータの「スリープ」「スタンバイ」「サスペンド」などの省電力モードは無効にしてください。省電力モードから復帰ができなかったり、データが失われたり、本製品が故障する恐れがあります。

本製品は「システム起動中にデバイスの追加や取り外しをする」など、活線挿抜（ホットプラグ）といわれる動作が可能です。ただし、本製品のアクセス時（アクセスランプが点滅している時）や光磁気ディスクがデスクトップにマウントしている時は、このような行為をしないでください。データが失われたり、本製品が故障する恐れがあります。

本製品のアクセス時(アクセスランプが点滅している時)や、光磁気ディスクがデスクトップにマウントしている時に、「電源を切る」「ACアダプタを抜く」「ケーブルを外す」「光磁気ディスクを強制排出する」といった行為をしないでください。データが失われたり、本製品や光磁気ディスクが故障する恐れがあります。

FireWire ハブや USB ハブに接続する場合は、FireWire ハブや USB ハブに付属のマニュアルをよくお読みのうえでお使いください。ハブ接続で正常に動作しない場合は、コンピュータ本体のコネクタに接続してお使いください。

本製品とともに接続する機器で音楽・動画を再生中(リアルタイム動作中)に、本製品を動作させると、再生中の音楽・動画が停止や中断することがあります。

FireWire で接続する際の注意事項・制限事項

FireWire ケーブルは、必ず FireWire インターフェイス規格に準拠し、高速転送に対応したものをお使いください。

コンピュータ本体に FireWire ケーブルを接続する際は、コネクタ(オス側)の形状とポート(メス側)の形状を確認のうえ、正しい方向に差し込んでください。逆方向に差し込まれた状態で電源を投入すると、過電圧が発生し、本製品が故障したりデータが消失する恐れがあります。

逆方向に差し込むなど、ケーブル接続時の誤使用によってコンピュータ本体や本製品が故障した場合は、ケーブルも故障している恐れがあります。故障したケーブルを他の正常な製品で使用した場合、その製品も過電圧を発生させる恐れがありますので、故障している(もしくは、故障している恐れがある)ケーブルは、ご使用にならずに必ず破棄してください。

コネクタが 4pin タイプの FireWire ケーブルではバスパワー動作に対応した機器に電力供給を行うことができません。複数の FireWire 機器を接続する場合、接続の流れの中に 4pin コネクタのケーブルで接続する FireWire 機器が含まれていると、正常に動作しなくなることがあります。

本製品を 4pin の FireWire ポートに接続してお使いの場合は、必ず FireWire インターフェイス規格に準拠し、高速転送(400Mb/s)に対応した 9pin 4pin の FireWire ケーブルをお使いください。DV 接続用などの高速転送(400Mb/s)に対応していない FireWire ケーブルをお使いになると、正常に動作しなかったり、データが失われる恐れがあります。

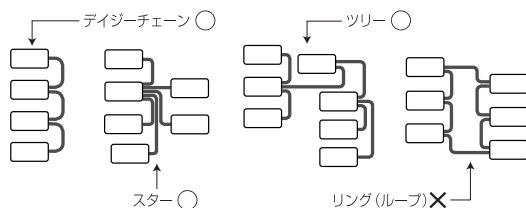
本製品の電源が「OFF」の場合、本製品の以降に接続されている他の FireWire 機器のデータ転送はできません。本製品の以降に接続されている他の FireWire 機器を認識させる場合は、本製品の電源を「ON」にしている必要があります。

複数の FireWire 機器を接続してお使いになると、システム起動中にデスクトップ上にマウントされる順番と、システム再起動後にマウントされる順番が変わる場合があります。

複数の（特に、同じタイプの）FireWire 機器を接続する場合は、「デバイスのボリューム名を変える」「デバイス本体に印を付ける」など、見分けがつくようにしてください。

FireWire 規格では、デジチェーン、スター、ツリーなどのいろいろな接続方法（次項を参照）を用いることにより、1つのバスにつき、コンピュータ本体を含めて63台までの機器を接続可能です。ただし、実際には数珠つなぎ（デジチェーン）を例にとると、両端の間を接続できるケーブルの本数が16本（16ホップといいます）までという制限があります。

FireWire 規格では、「デジチェーン」「スター」「ツリー」のいずれの接続方法も可能で、それぞれの接続方法を組み合わせることもできますが、リング（ループ）状態での接続はできません。



本製品を含む複数台の FireWire 機器をデジチェーンで接続してお使いの場合、システム起動後に FireWire 機器の電源を ON にすると認識されない場合があります。この場合は、認識されない機器を電源が ON の状態のまま一旦取り外し、再度接続し直してください。

FireWire 機器を接続した状態でシステムを起動する場合は、先に全ての FireWire 機器の電源を ON にしてからコンピュータの電源を ON にし、システムを起動させてください。

FireWire 800 の場合、本製品をデジチェーンで同時に接続できる台数は4台までです。デジチェーンによる5台以上の接続には対応しておりませんので、ご注意ください。


コンピュータの FireWire 800 ポートに本製品と、FireWire 800 に対応していない機器とをデジチェーン等で接続してお使いの場合、本製品の転送速度が低下する場合があります。

コンピュータに FireWire 800 ポートと FireWire 400 ポートが搭載されている場合は、FireWire 800 ポートには本製品などの FireWire 800 対応機器を接続し、FireWire 400 ポートには FireWire 800 に対応していない機器を接続してお使いになることをお勧めします。

Windows で IEEE1394 接続している場合は、必ず IEEE1394 バスコントローラのドライバ「OHCI」が必要です。OHCI ドライバがインストールされていることを確認してください。詳しくは、P27 をお読みください。

USB で接続する際の注意事項・制限事項

本製品をコンピュータの USB ポートに接続したままで、システムを起動させると認識されない場合があります。この場合は、本製品の電源が ON の状態のまま一旦取り外し、再度接続し直してください。

本製品を USB2.0 に対応していない Windows マシンに接続すると、「高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。…」というメッセージが表示される場合がありますが、USB1.1 では使用できますので、そのまま  をクリックします。

USB1.1 は転送速度が遅いため、FireWire もしくは、USB2.0 でお使いになることをお勧めします。

Mac OS X で使用する際の注意事項・制限事項

Mac OS X 10.2 以降であれば、Windows (DOS) フォーマットの光磁気ディスクを使用することができます。それ以前の Mac OS X のバージョンでは使用できませんのでご注意ください。なお、Mac OS X での Windows (DOS) フォーマットディスクの動作を当社が保証するものではありません。

複数のパーティションに区切られた光磁気ディスクのうち、1 ボリュームだけをアンマウントしても (ゴミ箱に捨てても)、ディスク (すべてのボリューム) ごと排出されます。

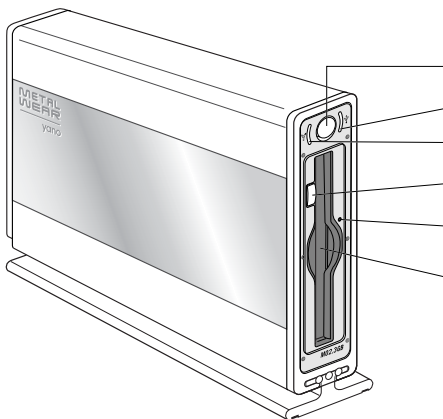
システム終了時もしくは再起動時に光磁気ディスクが自動排出されません。本製品に光磁気ディスクが挿入されたままシステムを終了した場合は、一旦、本製品の電源を切り、再度電源を入れ直してからイジェクトボタンを押して、ディスクを排出してください。

Mac OS X で光磁気ディスクの初期化を行う場合は、システムに標準で用意されているアプリケーション「ディスクユーティリティ」をお使いください。また、Mac OS X 10.2.3 以降であれば、物理フォーマットを行うことができます。Mac OS X 10.2.3 以降で物理フォーマットを行う際は、P44「Mac OS X で物理フォーマットをする」をお読みください。

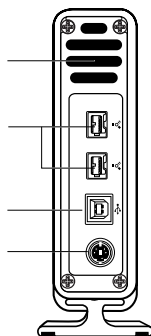
「UNIX ファイルシステム」形式でイニシャライズされた光磁気ディスクは、Mac OS X でのみお使いいただけます。他のシステム (Windows を含む) では、お使いいただけません。

4 各部の名称とはたらき

前面



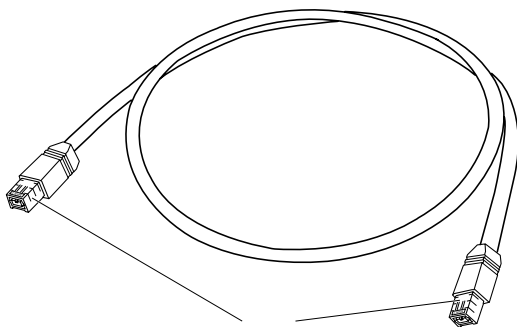
背面



電源スイッチ	本製品の電源をON / OFF します。電源を投入すると、白色に点灯します。
USBランプ	USB接続でお使いの時に、緑色に点灯します。本製品にアクセスしている時は、赤色に点滅します。
FireWireランプ	FireWire接続でお使いの時に、緑色に点灯します。本製品にアクセスしている時は、赤色に点滅します。
アクセスランプ	本製品に挿入されている光磁気ディスクにアクセスしている時に緑色に点滅します。
イジェクトボタン	Macintoshでは、通常はこのボタンを使用しません。アイコンを「ゴミ箱」までドラッグ&ドロップして取り出します。Windowsの場合、このボタンを押して光磁気ディスクを取り出すことができます。
光磁気ディスク強制取り出し口	通常の方法では、光磁気ディスクを取り出せなくなった場合に、この穴にピンを差し込んで強制的に排出します。光磁気ディスクを強制排出する時は、本製品の電源を切り、30秒以上たってから排出してください。排出方法については、P35「光磁気ディスクを強制排出する」をお読みください。
光磁気ディスク挿入口	ここに光磁気ディスクを挿入します。挿入方法については、P31「光磁気ディスクを挿入する」をお読みください。
通気口	空気が通ります。ふさがないようにしてください。
FireWire ポート (9pin)	FireWireケーブルのコネクタ(9pin)を接続します。
USB ポート	USBケーブルのコネクタを接続します。
電源コネクタ	本製品に付属のACアダプタを接続します。

FireWire ケーブル (9pin - 9pin)

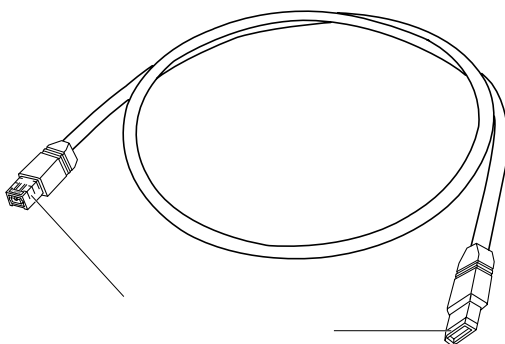
本製品の FireWire ポートとコンピュータの FireWire 800 ポート (9pin) を接続するケーブルです。



FireWire コネクタ (9pin)	本製品の FireWire ポートとコンピュータ本体の FireWire 800 ポートを接続します。
------------------------	-----------------------------------------------------

FireWire ケーブル (9pin - 6pin)

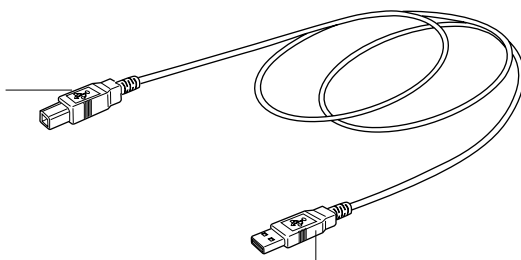
本製品の FireWire ポートとコンピュータの FireWire (6pin) ポートを接続するケーブルです。



FireWire コネクタ (9pin)	本製品の FireWire ポートに接続します。
FireWire コネクタ (6pin)	コンピュータ本体の FireWire (6pin) ポートに接続します。

USB ケーブル

本製品の USB ポートとコンピュータの USB ポートを接続するケーブルです。



タイプ A コネクタ	コンピュータ本体の USB ポートと接続します。USB ハブを使用している時は、USB ハブにも接続できます。
タイプ B コネクタ	本製品の背面にある USB ポートに接続します。

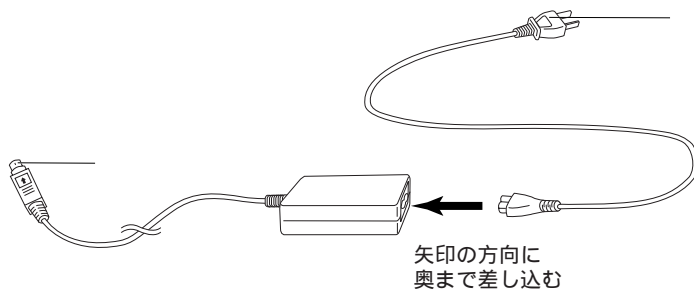
AC アダプタ

電源ケーブルは下図のように AC アダプタに差し込んでお使いください。



注意

本製品専用です。本製品には、必ずこの AC アダプタと電源ケーブルをご使用ください。また、この AC アダプタと電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。



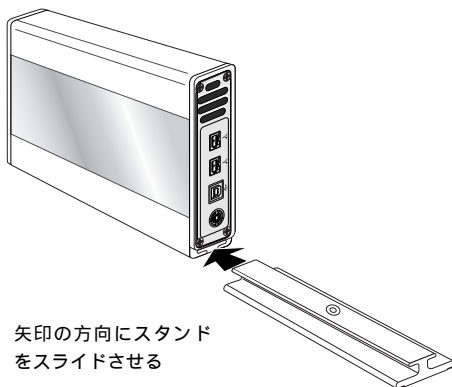
電源プラグ (コンセント側)	AC コンセントに差し込んで使用します。本製品を使用しない時は、必ず AC コンセントから抜いてください。
電源コネクタ (本製品側)	本製品の電源コネクタに接続します。

5 設置について

縦置き用スタンドの取り付け方

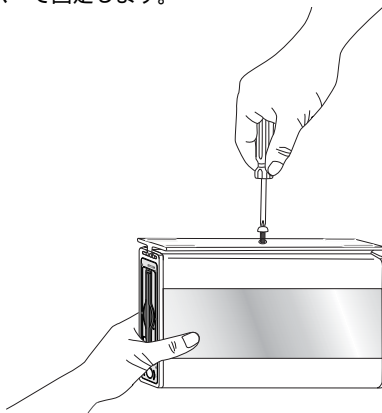
本製品を縦置きにする場合は、縦置き用スタンドを取り付けます。下記の手順で行ってください。

- 1 本体の背面から溝とスタンドのレールを合わせ、前面の方向にスライドさせて固定します。



矢印の方向にスタンド
をスライドさせる

- 2 縦置き用スタンドの底面にあるネジ穴に付属のスタンド固定用ネジをセットし、プラスドライバーで固定します。



注意

縦置き用スタンドはネジを取り付けることにより固定されますが、本製品の前面を上に向けたり、縦置き用スタンドを取り付けた状態で本製品を移動させると突然スタンドが本体から外れ落下する恐れがあります。十分ご注意ください。



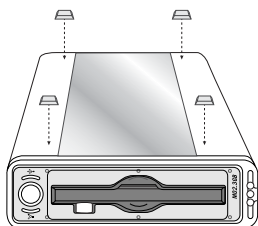
注意

本体へのキズを防ぐため、スタンド固定用ネジは樹脂製のものを採用しております。小さなドライバを使用するとネジ頭を破損する恐れがありますので、ネジにあったドライバーをご使用ください。また、必要以上に強く締め過ぎるとネジを破損する恐れがありますのでご注意ください。

横置きにする時

本製品を横置きにする場合は、横置き用ゴム足を取り付けます。下記の手順で行ってください。

図のように、電源スイッチが左側になるように（製品名ロゴが印刷された面を下に）寝かせ、下図のように4ヶ所にゴム足を取り付けてください。



正しい設置方向
製品名ロゴの面を上にする



注意

横置きにする場合、縦置きスタンドは取り外してください。

Chapter

2

本製品を使用する

Chapter 2では、本製品の接続および使用方法、初期化の方法について説明しています。お使いのOSや接続状態によって作業内容が異なりますので注意してください。Mac OS 9.1以降で FireWire 400 でお使いの場合は、接続の前にソフトウェアのインストール作業が必要です。Mac OS XやWindowsでお使いになる場合は、すぐに接続作業に入ります。

光磁気ディスクを初期化する場合は、それぞれお使いのOSの初期化方法をお読みください。

この作業は、Mac OS 9.1 以降で FireWire 400 で本製品をお使いになる場合にだけ必要な作業です。

Mac OS 9.1以降でFireWire 400で本製品をお使いになる場合は、ドライバソフトウェア(機能拡張書類)と光磁気ディスクをイニシャライズするためのフォーマッタをインストールする必要があります。ここではインストーラを使ったこれらのソフトウェアのインストール方法を説明します。なお、Mac OS X の場合は、これらのソフトウェアのインストールは必要ありません。

Mac OS 9.1 以降にインストールする

インストーラ「Yano FireWire Installer」を使って、ドライバソフトウェア(機能拡張書類)とフォーマッタ「Fire Formatter」をインストールします。

コンピュータの電源を入れて、システムを起動しておきます。



本製品は、このインストール作業が完了してから、コンピュータのFireWireポートに接続してください。

1

本製品に添付されている CD-ROM「FireWire Utility」を Macintosh 本体の CD-ROM ドライブにセットします。

・「FireWire Utility」の内容が表示されます。

2

「最初にお読みください」の書類をダブルクリックします。書類には、このマニュアルに記載されていない注意事項、変更点などが書かれています。必ず、お読みください。



最初にお読みください

・読み終われば、「SimpleText」を終了します。


3

インストーラ「Yano FireWire Installer」のアイコンをダブルクリックします。



Yano FireWire Installer

4

ソフトウェア使用許諾契約の画面が現われます。内容を確認のうえ、 をクリックします。


5 簡易インストールの画面が現われます。



インストール切替メニュー	「簡易インストール」と「カスタムインストール」を切り替えます。
場所切替メニュー	インストール先のディスクやフォルダを選択します。接続されているディスクが1つだけの場合、このメニューは表示されません。
場所表示	インストール先のディスクやフォルダを表示します。
ディスク切替 (フォルダ選択) ボタン	インストール先のディスクを選択します。接続されているディスクが1つだけの場合、このボタンは「フォルダ選択ボタン」となり、インストール先のフォルダを選択する際に使用します。
インストールボタン	インストール作業を実行します。
終了ボタン	Yano FireWire Installer を終了します。
ソフトウェア使用許諾契約	最初に表示されたソフトウェア使用許諾契約の画面を表示します。内容を再度確認する場合にこのボタンを押します。

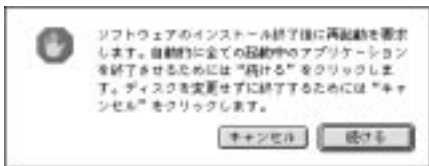


カスタムインストールでは、必要なソフトウェアを選んでインストールすることができます。インストールする項目を選択するチェックボックス (✓) が表示されますので、インストールする項目をクリックしてチェック (✓) を入れます。

- ・ 通常、本製品をお使いになるには「FW YMO」と「Fire Formatter」のインストールが必要です。
- ・ 右端のインフォメーションアイコン () をクリックすると、そのソフトウェアの情報が表示されます。詳しくは次ページ「インフォメーションアイコンについて」を参照してください。

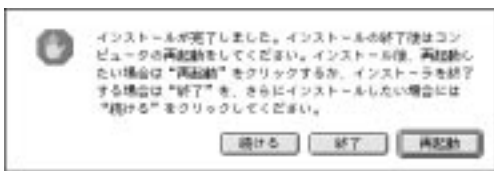
6 インストールする場所を確認して、**インストール** をクリックします。インストール場所を変更する場合は、場所切替メニューかディスク切替ボタンで選んでから、**インストール** をクリックしてください。

- 7** 下図のメッセージが表示されますので、**続ける** をクリックします。



- ・インストールが始まります。

- 8** インストールが完了すると、下図のメッセージが表示されます。**再起動** をクリックしてシステムを再起動させてください。



- ・他に起動中のアプリケーションソフト等がある場合は、それらを終了してからシステムを再起動させてください。
- ・インストール先に指定されたディスク(もしくはフォルダ)に、「Fire Formatter」の入った「FireWire Utility」というフォルダが作成されます。



簡易インストールを選択した場合、およびカスタムインストールで「Yano アイコン」のチェックボックスをチェックした場合は、「FireWire Utility」フォルダにカスタムアイコン集のフォルダ「Yano アイコン(詳しくは、P39を参照)」が作成されます。

これで、インストールは完了です。P27「2. 接続しましょう」へ進みます。「Fire Formatter」の使用法については、P36をお読みください。

I (インフォメーション) アイコンについて

カスタムインストールを選択すると、選択項目一覧にソフトウェア項目が表示されます。項目の右端にはアイコン (**I**) があり、クリックすると右図のようにそのソフトウェアの情報が表示されます。

OK をクリックすれば、元のカスタムインストール画面に戻ります。



2 接続しましょう

本製品をコンピュータ本体の FireWire (IEEE1394) または、USB ポートに接続します。PC カードや PCI ボードでお使いの場合は、カードやボードに付属のマニュアル等をお読みください。

Windows マシン(PC/AT 互換機)をご使用の場合

Windows マシンで IEEE1394 に接続してお使いの場合、必ず IEEE1394 バス コントローラのドライバ「OHCI」が必要です。まず、OHCI ドライバがインストールされていることを以下の手順で確認してください。

OHCI ドライバの確認手順

Windows を起動したあと、「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択してください。

Windows XP の場合、「マイコンピュータ」は通常 [スタート] ボタンから選びます。他の OS ではデスクトップにあります。

Windows 2000 / XP では、システムのプロパティ で【ハードウェア】タブを選択し、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。

Windows Me / 98 SE では、【デバイスマネージャ】タブで「種類別に表示」を選択します。

「IEEE1394 バスコントローラ」の中に「OHCI のドライバソフトウェア」が表示されているかを確認してください。

「OHCI のドライバソフトウェア」が表示されていない場合は、OHCI ドライバをインストールする必要があります。コンピュータ本体、IEEE1394 CardBus PC カード、IEEE1394 PCI ボードに付属のマニュアルなどをご覧になり、OHCI ドライバをインストールしてください。

Windows 98 SE をお使いの場合

Windows 98 SE でお使いの場合は、IEEE1394 デバイスドライバのアップデートを行ってください。アップデートを行うことにより、安全に IEEE1394 機器や USB 機器を取り外すことができ、IEEE1394 ドライバのパフォーマンスが向上します。本製品に付属の CD-ROM 「FireWire Utility」の中にある「242975JPN8.EXE」を実行してください。詳しくは CD-ROM に添付の「ReadMeFirst.txt」をお読みください。

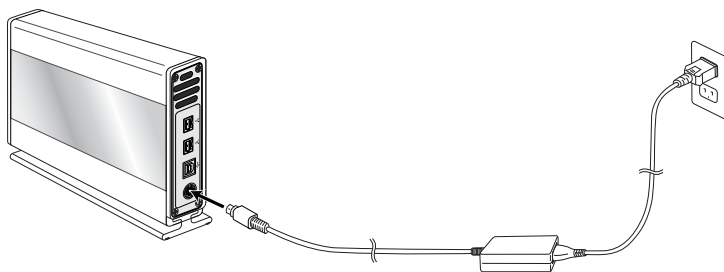
コンピュータと接続する

作業を始める前に、コンピュータ本体およびコンピュータに接続している機器の電源をすべて切っておきます。



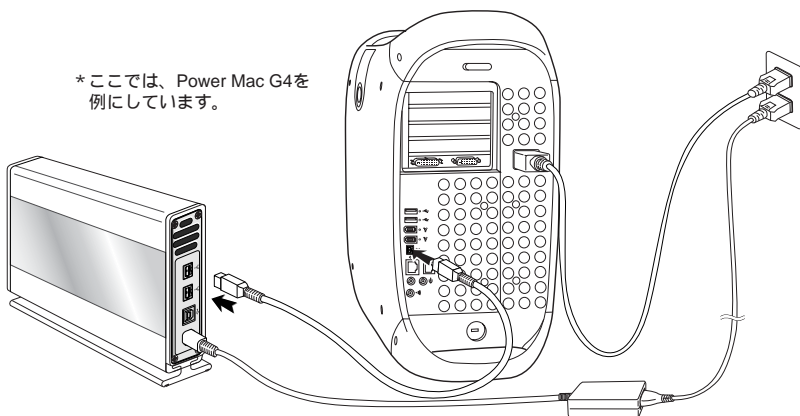
この時点では、本製品の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。電源スイッチがONになっている場合は、電源をOFFにしてください。

- 1 本製品にACアダプタの電源プラグを差し込みます。ACアダプタ側はACコンセントに差し込みます。











- 2 付属のFireWireケーブルまたはUSBケーブルで、本製品とコンピュータのポートにしっかりと接続します。


*ここでは、Power Mac G4を例にしています。



接続するケーブルはお使いになるコンピュータによって異なります。コネクタの形状は次ページのとおりで、コネクタの形状をよく確認して接続してください。

	本製品側	コンピュータ側
FirreWire 800 (9pin 9pin)		
FirreWire 400 (9pin 6pin)		
FirreWire 400 (9pin 4pin)		
USB 1.1 / 2.0		



本製品をUSB2.0に対応していないWindowsマシンに接続すると、「高速USBデバイスが高速ではないUSBハブに接続されています。...」というメッセージが表示される場合がありますが、USB1.1では使用できますので、そのままをクリックします。



FireWire (IEEE1394) 規格およびUSB規格では、活線挿抜 (ホットプラグ) 機能が採用されているため、システム稼働中に本製品を接続することができます。システム起動後に本製品を接続する時は、本製品の電源を入れてから、FireWireポートおよびUSBポートに接続してください。

活線挿抜 (ホットプラグ) 機能 ... FireWire (IEEE1394) 規格および、USB規格では「システム稼働中にFireWire機器およびUSB機器の追加や取り外しをする」など、活線挿抜 (ホットプラグ) といわれる動作が可能です。

これで、本製品とコンピュータとの接続は完了です。

Mac OS 9.1以降の場合

FireWireで接続してお使いの場合は、「ソフトウェアのインストール」と「本製品とコンピュータとの接続」が終われば、本製品とMacintoshに電源を入れて、システムを起動させてください。光磁気ディスクの読み書きができるようになります。本製品の使い方については、P30「3.使ってみましょう」へ進んでください。

USBで接続してお使いの場合は、「本製品とコンピュータとの接続」が終われば、本製品とMacintoshに電源を入れて、システムを起動させてください。光磁気ディスクの読み書きができるようになります。本製品の使い方については、P30「3.使ってみましょう」へ進んでください。

Mac OS Xの場合 Windowsの場合

「本製品とコンピュータとの接続」が終われば、本製品とコンピュータに電源を入れて、システムを起動させてください。光磁気ディスクの読み書きができるようになります。本製品の使い方については、P30「3.使ってみましょう」へ進んでください。

3 使ってみましょう

本製品の電源の入れ方と切り方、取り外し方の手順を説明します。

電源の入れ方 / 切り方

電源の入れ方

1. 本製品の電源スイッチをONにして電源を入れます。パワーランプが白色に点灯します。
2. コンピュータのシステムを起動します。
3. 接続しているポートにより、FireWireランプまたはUSBランプが緑色に点灯します。
4. 本製品が認識されます。Macintoshの場合は光磁気ディスクを挿入するとデスクトップにアイコンがマウントされます。環境によってはマウント(認識)されるまで数十秒かかる場合があります。

電源の切り方

1. 本製品に光磁気ディスクが入っている時は、電源を切る前に光磁気ディスクを取り出します。光磁気ディスクの取り出し方については、P33「光磁気ディスクを取り出す」をお読みください。
2. コンピュータのシステムを終了します。
3. 本製品の前面にある電源スイッチをOFFにして、電源を切ります。



FireWire(IEEE1394)PCカードを装着したコンピュータでお使いの場合、光磁気ディスクを取り出してから、FireWireケーブルを取り外し、電源を切ってください。本製品からACアダプタを取り外す場合は、本製品をコンピュータ本体から外してから行ってください。



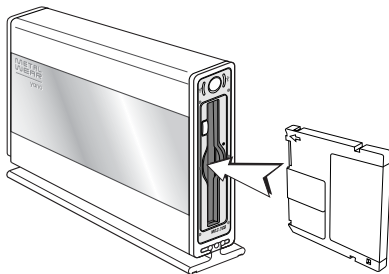
FireWire(IEEE1394)PCIボードを装着したコンピュータでお使いの場合、本製品を接続した状態で電源を切るとハングアップすることがありますので、光磁気ディスクを取り出し、FireWireケーブルを取り外してから電源を切ってください。本製品からACアダプタを取り外す場合は、本製品をコンピュータ本体から外してから行ってください。

光磁気ディスクを挿入する



光磁気ディスクのラベルがはがれかけている場合は、そのまま本製品に挿入しないでください。ドライブ内部でラベルが貼り付いてしまう可能性があります。ラベルがドライブ内部ではがれないように注意してください。

- 1** 下図のように、カシャという音がするまで、まっすぐに光磁気ディスクを差し込みます。

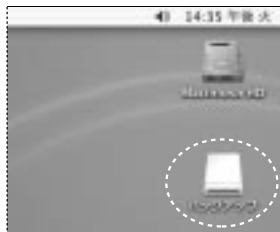


- 2** 光磁気ディスクが奥まで差し込まれると、アクセスランプが一度点灯し、すぐに消灯します。

- 3** Macintosh の場合、下図のようなアイコンがマウントされます。



Mac OS 9.1 以降の場合



Mac OS X の場合

Windows の場合は、マイコンピュータを開き、リムーバブル ディスク (光磁気ディスク) アイコンをクリックしてお使いください。



マイコンピュータ



Windows XP の場合



リムーバブル ディスク (E)

Windows 98 SE /
Me / 2000 の場合

これで本製品が使用できるようになります。フォーマット方法については P36 「4. 初期化しましょう」をお読みください。



Mac OS 9.1 以降 でお使いの場合は、以下の点にご注意ください。

本製品は、複数のボリューム(パーティション)がある光磁気ディスクを本製品に挿入すると、第5ボリュームまでデスクトップにマウントします。

初期化されていない、または本製品が対応していないフォーマット形式の光磁気ディスクを入れると、Mac OS の ディスクの初期化 画面が表示されます。

光磁気ディスクをイニシャライズ(初期化)する場合は、一度光磁気ディスクを取り出し、本製品に付属の「Fire Formatter」を起動してから、光磁気ディスクを入れてください。イニシャライズは必ず「Fire Formatter」で行ってください。イニシャライズの方法は、P36をお読みください。

File Exchangeが無効になっている場合は、Windowsで初期化された光磁気ディスクを入れると、Mac OS の ディスクの初期化 画面が表示されますのでご注意ください。また、File Exchangeは、Windowsの640MB、1.3GB、2.3GBフォーマットに対応していませんので、File Exchangeが有効になっていても、ディスクの初期化 画面が表示されます。



Mac OS X でお使いの場合は、以下の点にご注意ください。

Mac OS X 10.2 以降であれば、Windows (DOS) フォーマットの光磁気ディスクを使用することができます。それ以前のバージョンでは使用できませんのでご注意ください。なお、Mac OS X でのWindows(DOS)フォーマットディスクの動作を当社が保証するものではありません。

システム起動後にディスクを挿入してください。本製品にディスクが挿入されたままシステムを起動すると、「ディスクを認識しない」標準とは異なったディスクアイコンが表示される」といった不具合の起こる恐れがあります。



Windows でお使いの場合は、以下の点にご注意ください。

本製品は、複数のボリューム(パーティション)がある光磁気ディスクに対応していませんのでご注意ください。

初期化されていない、または本製品が対応していないフォーマット形式の光磁気ディスクを入れると、システムが「今すぐフォーマットしますか?」という画面を表示します。

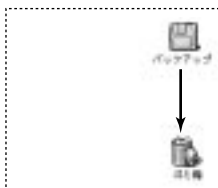
そのままフォーマット(初期化)する場合は、「はい」ボタンをクリックして、フォーマットを行ってください。フォーマットしない場合は、「いいえ」ボタンをクリックして、光磁気ディスクを取り出してください。フォーマットの方法は、P46をお読みください。

光磁気ディスクを取り出す

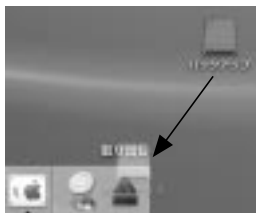
光磁気ディスクを取り出す場合は、以下の手順に従ってください。

Macintosh の場合

- 1 必ず、本製品に記録されているファイルやアプリケーションなどのデータが使用中でないことを確認してください。
- 2 光磁気ディスクを取り出す際は、必ずデスクトップ画面のゴミ箱に下図のアイコンをドラッグ & ドロップしてください。



Mac OS 9.1 以降の場合



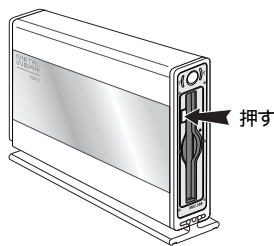
Mac OS X の場合

- 3 光磁気ディスクは自動的に排出されます。
- 4 本製品を取り外す際は、ケーブルを抜き、本製品の電源を切ります。

Windows の場合

- 1 光磁気ディスクを取り出す際は、光磁気ディスクが使用中（データアクセス中）でないことを確認します。
- 2 マイコンピュータを開き、[リムーバブル ディスク（光磁気ドライブ）] アイコンにポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックし、「取り出し」を選択します。

本製品のイジェクトボタンを押して取り出すこともできます。



光磁気ディスクが排出されない場合は、強制的に取り出す必要があります。P35の「光磁気ディスクを強制排出する」をお読みください。

光磁気ディスクが使用中（データアクセス中）にディスクを取り出すと、データが壊れる可能性があります。使用中（データアクセス中）は、ディスクを取り出さないように注意してください。

Windows で本製品を取り外す

本製品をコンピュータ本体から取り外す場合は、以下の手順に従ってください。





Windows 98 Second Edition をお使いの場合


Windows 98 SEの場合でホットプラグ機能を利用するには、本製品に付属のCD-ROM「FireWire Utility」に収録されているIEEE1394アップデートを必ず実行しておいてください。

1

必ず、本製品（光磁気ディスク）に記録されているファイルやアプリケーションなどのデータが使用中でないことを確認し、光磁気ディスクを取り出してください。

2

タスクバーのステータス表示領域に、アイコン  もしくは、 が表示されます（Windows 98 SEでアイコンが表示されない場合は、IEEE1394のアップデートを行ってください）。

または、 アイコンをクリックすると、下図のようなメッセージが表示されますので選択します。

IEEE1394接続の場合



Windows XP の場合のメッセージ(例)



Windows Me の場合のメッセージ(例)

USB接続の場合




Windows XP の場合のメッセージ(例)

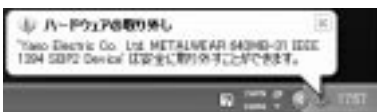


Windows Me の場合のメッセージ(例)

3

下図のようなハードウェアの取り外しの画面が表示されますので、 をクリックします。Windows XPの場合、しばらくすると表示が消えます。

IEEE1394接続の場合



Windows XP の場合(例)



Windows Me の場合(例)

USB接続の場合



Windows XP の場合(例)



Windows Me の場合(例)

4

接続しているケーブルを抜き、本製品の電源を切ります。



FireWire(IEEE1394)PCカードを装着したコンピュータでお使いの場合、光磁気ディスクを取り出してから FireWire ケーブルを取り外し、電源を切ってください。本製品から AC アダプタを取り外す場合は、本製品をコンピュータ本体から外してから行ってください。

FireWire(IEEE1394)PCI ボードを装着したコンピュータでお使いの場合、本製品を接続した状態で電源を切るとハングアップすることがありますので、光磁気ディスクを取り出し、FireWire ケーブルを取り外してから電源を切ってください。

光磁気ディスクを強制排出する



光磁気ディスクがデスクトップにマウントされた状態で、この作業を実行すると、データが壊れる可能性がありますのでご注意ください。

1

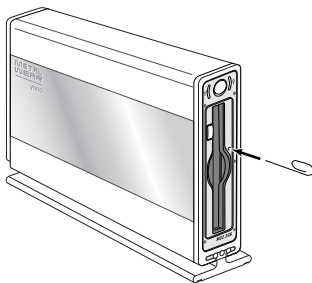
ケーブルを抜いて、本製品をコンピュータ本体から外します。

2

本製品の電源を切って 30 秒待ちます。

3

本製品を軽く押さえながら、前面にある光磁気ディスク強制取り出し口に本製品に付属のイジェクトピン、もしくはゼムクリップなどを伸ばしたピンを差し込みます。



4

光磁気ディスクが排出されます。

4 初期化しましょう

初期化 (Macintosh では「イニシャライズ」、Windows では「フォーマット」) の方法を説明します。お使いになる OS に合わせて初期化してください。

- ・ Mac OS 9.1 以降で FireWire 接続でお使いの場合 このあとへ
- ・ Mac OS 9.1 以降で USB 接続でお使いの場合 P40 へ
- ・ Mac OS X でお使いの場合 P41 へ
- ・ Windows でお使いの場合 P46 へ



初期化を実行すると、光磁気ディスクにあるデータは、すべて消去されます。消去されたデータを元に戻すことはできませんので、十分にご注意ください。

Mac OS 9.1 以降で「Fire Formatter」を使ってイニシャライズする

Mac OS 9.1 以降で、FireWire 接続でお使いの場合は、「Fire Formatter」を使ってイニシャライズ (初期化) します。

本製品に対してイニシャライズを行う場合、FireWire インターフェイスの機器は、本製品 1 台のみがコンピュータに接続されている状態で行ってください。



当社製の FireWire インターフェイスの機器が 2 台以上接続されていると、目的の機器以外のデバイスがイニシャライズされることがあります。



「Fire Formatter」には、パーティション作成機能がありません。イニシャライズを実行すると、光磁気ディスクの最大容量の単一ボリューム (パーティション) になります。

1

本製品がコンピュータに接続されていることを確認します。本製品の電源を入れてからシステムを起動します。

2

「FireWire Utility」を開き、「Fire Formatter」をダブルクリックして起動します。



Fire Formatter

- ・ 必ず光磁気ディスクを入れる前に、「Fire Formatter」を起動します。

3

本製品に光磁気ディスクを挿入します。➡ P31「光磁気ディスクを挿入する」

4 必要に応じてボリューム名を入力し、オプションを設定します。



ボリューム名	イニシャライズ後に本製品（光磁気ディスク）に付ける名称を入力します。
アイコン選択ボタン	この部分をクリックすると、アイコン選択の画面が表示されます。お使いの製品に合わせて好きなアイコンをクリックすると、デスクトップのボリュームアイコンになります。P39を参照してください。
拡張フォーマットを行う	このチェックボックスにチェック（✓）が入っていれば、Mac OS 拡張フォーマットでイニシャライズを行います。通常は、拡張フォーマットでイニシャライズしてください。拡張フォーマットでイニシャライズした光磁気ディスクは、Mac OS 8.1以降でのみ使用可能です。標準フォーマットを行う場合は、チェックボックスをクリックして、チェックを外してください。
物理フォーマットを行う	このチェックボックスをクリックし、チェック（✓）を入れると、イニシャライズの際に物理フォーマットが行われます。通常は物理フォーマットをする必要はありません。物理フォーマットを行う場合は、チェック（✓）を入れてください。なお、物理フォーマットには、時間がかかります。
実行ボタン	「ボリューム設定」と「オプション設定」の設定後、このボタンをクリックして、イニシャライズを実行します。
クローズボックス	Fire Formatterを終了させる（Fire Formatterの画面を閉じる）場合は、このボックスをクリックします。

- 5**  をクリックします。




・ イニシャライズを実行してよいか、確認の画面が表示されます。

- 6** 実行してよければ、 をクリックします。

・ イニシャライズが開始されます。

- 7** イニシャライズが終わると、イニシャライズの終了を知らせるメッセージが現れます。

 をクリックします。



- 8** デスクトップに、光磁気ディスク（本製品）のアイコンがマウントされます。



これでイニシャライズは完了です。

ボリュームアイコンの変更について

イニシャライズ時のアイコンの変更について


- 1 アイコン選択ボタンをクリックすると、アイコン選択の画面が表示されます。



- 2 お使いの製品に合わせて好きなアイコンを選び、選択ボタンをクリックします。
- 3 イニシャライズを実行します。選択したアイコンが、イニシャライズ終了後のデスクトップのボリュームアイコンになります。

フォーマット済みのボリュームに対するアイコンの変更について

すでにフォーマット済みのボリュームに対してもアイコンを変更することができます。付属のCD-ROM「FireWire Utility」からインストールされた「FireWire Utility」フォルダの中の「Yano アイコン」というフォルダにアイコンが収録されています。以下の手順でお使いください。

- 1 ボリューム（光磁気ディスクなど）のアイコンを、変更したいアイコンの上にドラッグします。
- 2 変更を確認するダイアログが表示されますので、確認のうえ  をクリックします。
- 3 デスクトップのボリュームアイコンになります。

Mac OS 9.1以降でUSB接続で初期化する

本製品をMac OS 9.1以降でお使いで、USBポートに接続している場合は、Mac OSの標準のメニューから初期化を行います。

本製品に対して初期化を行う場合、USB機器は、本製品1台のみがコンピュータに接続されている状態で行ってください。



USBの機器が2台以上接続されていると、目的の機器以外のデバイスがイニシャライズされることがあります。



Mac OS 9.1以降の標準の初期化のメニューにはパーティション作成機能がありません。初期化を実行すると、ディスクの最大容量の単一ボリューム（パーティション）になります。

1

本製品がUSBポートに接続されていることを確認します。本製品の電源を入れてからコンピュータのシステムを起動します。

2

本製品に光磁気ディスクを挿入します。● P31「光磁気ディスクを挿入する」マウントされたボリュームアイコンをクリックし、選択します。

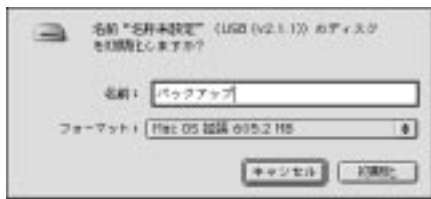
3

「特別」メニューから「ディスクの初期化...」を選択します。

4

『名前：』にボリューム名にしたい名称を入力します。

『フォーマット：』でフォーマット形式を選択します。「Mac OS 拡張」で初期化されることを推奨します。



5

初期化を実行してもよければ、**初期化** をクリックします。

初期化の実行中に「ディレクトリを作成中...」という画面が表示されます。しばらくすると初期化が終了します。

これでイニシャライズは完了です。

Mac OS Xで「ディスクユーティリティ」を使って初期化する

本製品をMac OS Xでお使いの場合は、FireWire、USBのいずれの接続でも「ディスクユーティリティ」を使って初期化を行います。

1 本製品がコンピュータに接続されていることを確認します。本製品の電源を入れてからシステムを起動します。

2 システム起動ディスク（通常は「Macintosh HD」）から「アプリケーション」の中の「ユーティリティ」にある「ディスクユーティリティ」をダブルクリックして起動します。



3 ディスクのリスト表示の中から、初期化するディスクを選びます。



注意

すでにデータが書き込まれたディスクに対して初期化を実行すると、ディスク内のデータはすべて消去されます。消去されたデータを元に戻すことはできませんので、初期化を実行する場合は、必ず初期化の対象となるディスクが選ばれていることを確認してから行ってください。



注意

Mac OS X 10.1.5 ~ 10.2.8 の場合は、「情報」タブをクリックして確認します。

FireWire接続の場合



- ・ ウィンドウ下部にある「ディスクの説明」に「Yano Electric Co. Ltd.」、「接続バス」に「FireWire」と表示されていることと、挿入しているディスクの容量を「全体のサイズ」で確認します。

USB接続の場合



- ・ ウィンドウ下部にある「ディスクの説明」に「FUJITSU MCM3064AP Media」、
「接続バス」に「USB」と表示されていることと、挿入しているディスクの容量を「全体のサイズ」で確認します。

ここでは「MTM64F8A」を例にしています。お使いの製品によって表示が異なります。

4

「パーティション」タブをクリックします。(下図を参照してください。)

「ボリュームの方式」「フォーマット」を選び、必要に応じて「名前」を入力します。名前を入力した後にキーボードのreturnキーまたは、enterキーを押し、入力した名前がパーティションマップに反映されていることを確認します。



「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」が表示されている場合

「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」のチェックを外した状態で初期化を行った光磁気ディスクは、Mac OS 9のシステム環境では使用できなくなることがあります。

名前が反映されていることを確認



ボリュームの方式		ディスクを複数のボリュームに分割することができます。弊社では光磁気ディスクを単一ボリューム（1パーティション）でお使いになることを推奨します
ボリューム情報	名前	ディスクに付ける名称を入力します。初期値は「名称未設定」になっています。名前を入力後、キーボードの return キー または、enter キーを押します。
	フォーマット	Mac OS 標準・Mac OS 拡張・UNIX ファイルシステムの中から初期化のタイプを選びます。通常は「Mac OS 拡張フォーマット」で初期化してください。Mac OS X 10.3 の場合は、「Mac OS 拡張（ジャーナリング）」で初期化してください。Mac OS 拡張フォーマットで初期化した光磁気ディスクは、Mac OS 8.1 以降でのみ使用可能です。
	サイズ	初期化されるディスク容量が表示されます。




「UNIX ファイルシステム」形式で初期化されたディスクは、Mac OS X でのみお使いいただけます。他のシステム（Windows を含む）では使用できません。

5

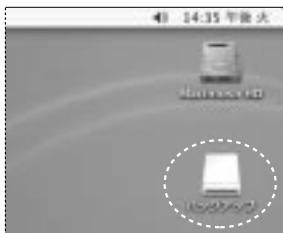
初期化を実行してよければ、 をクリックします。

6

操作を実行してもよいかを確認する（警告！）ダイアログが表示されます。実行してよければ  をクリックします。

7

「ディスクユーティリティ」を終了します。デスクトップに、ドライブ（光磁気ディスク）アイコンが表示されます。



これで初期化は完了です。

Mac OS X で物理フォーマットを行う

Mac OS X 10.2.3以降であれば、物理フォーマットを行うことができます。物理フォーマットを行う際は、以下の手順で作業を行ってください。

- 1 「Macintosh HD」、「アプリケーション」、「ユーティリティ」の順に開き、「ディスクユーティリティ」を起動します。
ディスクのリスト表示の中から物理フォーマットの対象となるディスクを選択し、「消去」を選びます。
「ボリュームフォーマット：」に「Mac OS 拡張 (ジャーナリング)」を選択し、「名前：」を入力します。



Mac OS X 10.2.3 ~ 10.2.8 の場合は、「ボリュームフォーマット：」に「Mac OS 拡張」を選択します。



「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」が表示されている場合
「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」のチェックを外した状態で初期化を行った光磁気ディスクは、Mac OS 9 のシステム環境では使用できなくなることがあります。

2

「オプション...」 をクリックすると、「消去オプション」画面が表示されますので、「全データを"0"にする」にチェックを入れて、**「OK」** をクリックします。



3

「消去」画面に戻ったら、**「消去」** をクリックするとディスクの消去をしてもよいかを確認する「ディスクの消去」画面が表示されます。消去する場合は、**「消去」** をクリックし実行します。

消去が終了すれば、物理フォーマットは完了です。



すでにデータが書き込まれたディスクに対して初期化を実行すると、ディスク内のデータはすべて消去されます。消去されたデータを元に戻すことはできませんので、初期化を実行する場合は、必ず初期化の対象となるディスクが選ばれていることを確認してから行ってください。また、複数のボリュームがある場合はすべて消去されますのでご注意ください。



物理フォーマットは、デバイスの全領域に「0」を書き込むため時間がかかります。消去タブに「オプション...」ボタンが表示されていない場合、また、「消去オプション」画面で「全データを"0"にする」にチェックが入っていない場合は、物理フォーマットを行うことはできません。

Windows でフォーマットする

本製品を使って、光磁気ディスクをフォーマット(初期化)します。フォーマット形式はWindows フォーマットになります。

ここでは、Windows XP でのフォーマット手順を説明しています。Windows 98 SE / Me / 2000 でも基本的な操作は同じです。



フォーマットを実行すると、光磁気ディスクの最大容量の単一ボリューム(パーティション)になります。

本製品がコンピュータに接続されていることを確認します。本製品の電源を入れてからシステムを起動します。

- 1** 本製品に光磁気ディスクを入れます。● P31「光磁気ディスクを挿入する」
- 2** [スタート]ボタンから「マイコンピュータ」を選びます。他のOSではデスクトップの[マイコンピュータ]をダブルクリックします。
- 3** 対象となる[光磁気ドライブ(リムーバブル ディスク)]アイコンにポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。サブメニューが開きますので、「フォーマット」を選択します。



Windows XP の場合



Windows Me の場合

- ・ フォーマット 画面が表示されます。

4

下図のような画面が現れます。必要な項目を設定して、**フォーマット** をクリックします。



Windows XP の場合



Windows Me の場合

- ・「クイックフォーマット」は、同じフォーマット形式で再フォーマットする場合だけ選択できます。
- ・Windows 98 SE / Me / 2000 の場合、Windows が未対応の形式でフォーマットされた光磁気ディスクを初期化し直す場合は、「通常のフォーマット」を選択してください。

5

「...フォーマットをするとこのディスクのすべてが消去されます。...」という確認の画面が表示されますので、**OK** をクリックします。

Windows 98 SE / Me / 2000 の場合、手順 **4** で「結果レポートの表示」にチェックを入れた時は フォーマット結果 画面が表示されます。確認が終わったら【閉じる】をクリックします。

6

「フォーマットが完了しました。」というメッセージが表示されます。Windows 98 SE / Me / 2000 では「このディスクをフォーマットしました。」と表示されます。**OK** をクリックします。

Windows 98 SE / Me / 2000 の場合、フォーマットが完了すると、元のフォーマット画面が表示されますので、**閉じる** をクリックします。

- ・フォーマットの確認画面やヘルプの画面が表示された場合は、内容を確認後、画面を閉じてください。

これでフォーマット（初期化）は完了です。

5 対応する光磁気ディスクについて

本製品はそれぞれ、下記の光磁気ディスクに対応しています。

- ・MTM23F8A 下記のすべての光磁気ディスクに対応します。
- ・MTM13F8A 2.3GB 以外の光磁気ディスクに対応します。
- ・MTM64F8A 2.3GB , 1.3GB 以外の光磁気ディスクに対応します。

容量とタイプ	対応規格
2.3GB	GIGAMO 規格に準拠したもの。
1.3GB	GIGAMO 規格に準拠したもの。
640MB・OW	オーバーライト対応ディスク。ISO/IEC 15041 規格に準拠したもの。
640MB	ISO/IEC 15041 規格に準拠したもの。
540MB・OW	オーバーライト対応ディスク。ISO/IEC 15041 規格に準拠したもの。
540MB	ISO/IEC 15041 規格に準拠したもの。
230MB・OW	オーバーライト対応ディスク。
230MB	ECMA-201 もしくは、ISO/IEC 13963 規格に準拠したもの。
128MB	ISO/IEC 10090 規格に準拠したもの。



本製品で初期化や書き込みを行った 128MB ディスクは、まれに 128MB ドライブでは、読み書きができないなどの不具合を起こすことがありますのでご注意ください。



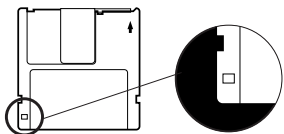
本製品のオーバーライト対応ディスクに対する書き込み速度は、通常の光磁気ディスクと同等になります。



オーバーライト対応ディスクを使用できない MO ドライブで、オーバーライト対応ディスクをお使いになると、データやディスクを損傷する恐れがありますので、十分ご注意ください。

ライトプロテクトについて

光磁気ディスクにあるノッチを動かすことで、フロッピーディスクと同じように、書き込みと初期化(イニシャライズもしくはフォーマット)をハード的に禁止できます。書き込みの必要がない光磁気ディスクを使用する場合は、書き込み禁止の状態にしてお使いください。



穴が閉まった状態の時は、読み出しだけでなく書き込みと初期化も可能です。
穴が開いた状態の時は、読み出しだけが可能です。
書き込みと初期化はできません。



書き込み済みの光磁気ディスクは、書き込み禁止にしておくことを心掛けておけば、データを壊す確率が非常に低くなります。

光磁気ディスクのクリーニングについて

光磁気ディスクの表面が汚れると、書き込みや読み出し時のエラーの原因になります。このような時には、光磁気ディスクの表面をクリーニングする必要があります。
市販のディスククリーニングキットをご利用ください。

光磁気ディスクの互換性について

Macintosh での Windows フォーマットディスクの対応について

Macintosh で Windows フォーマットの光磁気ディスクを使用する場合は、以下の点に注意してください。



Macintosh は Windows の NTFS フォーマットに対応していません。



記載内容について、当社が Mac OS での Windows フォーマットディスクの動作を保証するものではありません。

Mac OS 9.1 以降でお使いの場合

- ・ Windows フォーマットで初期化された 128MB, 230MB, 540MB のディスクのみ使用可能です。640MB, 1.3GB, 2.3GB のディスクは使用できませんのでご注意ください。
- ・ Windows フォーマットのディスクを使用するには、必ず、File Exchange を有効にしておく必要があります。

Mac OS X の場合

- ・ Mac OS X 10.2 以降であれば、Windows フォーマットの光磁気ディスクを使用することができます。それ以前のバージョンでは使用できませんのでご注意ください。

Windows での Macintosh フォーマットディスクの対応について

Windows は Macintosh フォーマットに対応してないため、Macintosh フォーマットの光磁気ディスクは使用できません。

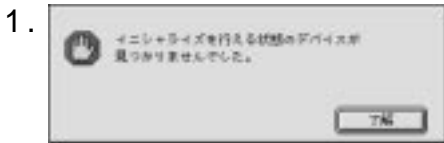
Chapter

3

付 録

Chapter 3では、本製品が正常に動作しない時のトラブルシューティングとカスタマサポートなどをご案内しています。必要に応じてお読みください。

本製品を Mac OS 9.1 以降でお使いの場合、「Fire Formatter」を操作している時に表示されるエラーメッセージとその対処方法を説明します。




下記のような状態の時に表示されます。

本製品の電源が入っていない。AC アダプタが接続されていない。

FireWire ケーブルが接続されていない。


「FW YMO」が機能拡張フォルダにインストールされていない。

「FW YMO」はシステムフォルダにインストールされているが、無効になっている。

→  をクリックして、確認してください。 の場合、コントロールパネルの機能拡張マネージャで調べてください。




本製品に光磁気ディスクが挿入されていない状態で、操作した場合に表示されます。

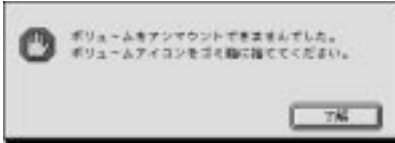
→  をクリックします。光磁気ディスクを挿入してから、操作してください。



ライトプロテクトがかかった状態の光磁気ディスクを挿入しています。

→  をクリックします。光磁気ディスクを取り出し、書き込みを行ってよい光磁気ディスクかを確認してください。書き込みまたはイニシャライズする場合は、ライトプロテクトを解除してから、挿入してください。ライトプロテクトについては、P49「ライトプロテクトについて」をお読みください。

4.



使用中のファイルがある光磁気ディスクに対してイニシャライズを行おうとしている場合に表示されます。

- **TMS** をクリックし、使用中のファイルをすべて終了してから作業を行うか、光磁気ディスクのアイコンを一度「ゴミ箱」にドラッグ&ドロップしてアンマウントしてから、イニシャライズを行ってください。

5.



イニシャライズの作業中にエラーが発生した場合に表示されます。


- **TMS** をクリックし、物理フォーマットの項目をチェックした状態でイニシャライズを行ってください。それでも、同じメッセージが表示される場合は、光磁気ディスクそのものの不良が考えられます。


2 こんな時には

正常に動作しない場合など、トラブルが発生した時は、下記のことを確認してください。

 ... Macintoshの内容です。



 ... Mac OS 9.1以降に限定した内容です。

 ... Mac OS Xに限定した内容です。



 ... Windowsの内容です。

? 光磁気ディスクを入れてもマウント（認識）されない。


本製品の電源は入っていますか。ACアダプタは接続されていますか。


  本製品を使用するにはACアダプタが必要です。ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されている場合には、電源が入っていることを確認してください（P30を参照）。

コンピュータ本体と本製品が正しく接続されていますか。



  コンピュータ本体のポートと本製品が正しく接続されているか確認してください。また、ケーブルのコネクタが抜けかかっていないのかも確認してください。

ドライバソフトウェアは使用可能な状態ですか。



 ドライバソフトウェア「FW YMO」がシステム起動ドライブにインストールされているか確認してください。機能拡張マネージャなどで、「FW YMO」が有効になっているかを確認してください。無効になっている場合は、有効に変更してから再起動してください。

 IEEE1394接続している場合、必ずIEEE1394バスコントローラのドライバ「OHCI」が必要です。OHCIドライバがインストールされていることを確認してください。詳しくは、P27をお読みください。

本製品が対応するフォーマットですか。

  本製品が対応しないフォーマットの光磁気ディスクの場合、マウント（認識）されません。本製品が対応するフォーマットに初期化してください。

光磁気ディスクの容量は本製品に対応していますか。

  本製品が対応しないディスク容量の光磁気ディスクはマウント（認識）されません。本製品が対応するディスク容量の光磁気ディスクをお使いください。詳しくは、P48「5. 対応する光磁気ディスクについて」を参照してください。

初期化済みの光磁気ディスクですか。



初期化されていない光磁気ディスクはマウントされません。

FireWireで接続している場合は、「Fire Formatter」でイニシャライズ(初期化)してください(P36を参照)。

USBで接続している場合は、Mac OS 標準のメニューから初期化を行ってください(P40を参照)。



システムに標準で用意されているアプリケーション「ディスクユーティリティ」をお使いください(P41を参照)。



マイコンピュータを開き「リムーバブルディスク(光磁気ドライブ)」アイコンを選んで、マウスの右ボタンをクリックし、サブメニューから「フォーマット」を選択してフォーマットしてください(P46を参照)。

? 光磁気ディスクが取り出せない。

本製品の電源が入っていますか。ACアダプタは接続されていますか。



本製品の電源が入っていないと取り出せません。電源が入っていることを確認してください(P30を参照)。電源が入っている場合は、イジェクトボタンを押してみてください。

本製品を使用するにはACアダプタが必要です。ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。それでも取り出せない場合は、P35「光磁気ディスクを強制排出する」の手順に従って取り出してください。

Macintoshの場合、デスクトップにある光磁気ディスク(ドライブ)のアイコンを「ゴミ箱」にドラッグ&ドロップしましたか。



通常はイジェクトボタンを使用して光磁気ディスクを取り出すことはできません。デスクトップの光磁気ディスク(ドライブ)のアイコンを「ゴミ箱」にドラッグ&ドロップして取り出します。

? 光磁気ディスクがデスクトップにマウント(認識)された状態で、本製品の電源を切ってしまった。

この作業を実行するとデータが壊れる可能性がありますので、デスクトップにマウント(認識)された状態で電源を切らないように注意してください。同様に、光磁気ディスクがデスクトップにマウントされている時は、ACアダプタを抜かないように注意してください。



本製品の電源を入れ直してください。それでもマウント(認識)されない場合は、コンピュータ本体を再起動してください。

? 光磁気ディスク(ドライブ)がデスクトップにマウント(認識)された状態で、ケーブルを抜いてしまった。

この作業を実行するとデータが壊れる可能性がありますので、ケーブルを抜かないように注意してください。

Mac **Win** ケーブルを接続し直してください。それでもマウント(認識)されない場合は、コンピュータ本体を再起動してください。

? Windows(DOS)フォーマット形式の光磁気ディスクを入れると、Mac OS の ディスクの初期化 画面が表示された。

File Exchange が無効になっていませんか。

? File Exchange が無効になっていると、Windowsフォーマット形式の光磁気ディスクを認識できません。このため、ディスクの初期化 画面が表示されます。なお、Windows(DOS)フォーマットの 640MB, 1.3GB, 2.3GBの光磁気ディスクは、File Exchangeが対応していないためご使用になれません。

Mac OS X 10.1.5でWindowsフォーマット形式の光磁気ディスクを使用していませんか。

X Mac OS X 10.1.5 の場合、Windows(DOS)フォーマットの光磁気ディスクは使用できません。Mac OS X 10.2以降であれば、Windows(DOS)フォーマットの光磁気ディスクを使用することができます。

Windows で NTFS フォーマットで初期化していませんか。

Mac MacintoshはNTFSフォーマットに対応していません。NTFSでフォーマットされた光磁気ディスクは、Macintoshではデスクトップにマウントされず、未フォーマットディスクとして認識されるため、ディスクの初期化 画面が表示されます。

? 警告ダイアログが現れる。

本製品がデスクトップにマウントされている時に、本製品とMacintoshの接続が外れたり、電源が「OFF」になったりすると、警告ダイアログが現れます。

? 元の状態に戻せば(接続を外した場合はケーブルを接続し直し、電源を「OFF」にした場合は「ON」にすれば)ダイアログは消えます。

接続を外したり、電源を「OFF」にする場合は、光磁気ディスクに記録したファイルやアプリケーションなどのデータが使用中でないことを確認し、本製品のアイコンをアンマウントして(ゴミ箱に捨てて)から行ってください。


X OK ボタンをクリックすれば、ダイアログは消えます。


接続を外したり、電源を「OFF」にする場合は、光磁気ディスクに記録したファイルやアプリケーションなどのデータが使用中でないことを確認し、本製品のアイコンをアンマウントして(ゴミ箱に捨てて)から行ってください。

? 他のディスクに入っているデータを光磁気ディスクにコピーするとファイル容量が異常に大きくなる。

Macintosh のファイルフォーマット形式には標準フォーマットと拡張フォーマットがあり、ファイルフォーマット形式の異なるディスク間でデータのコピーを行うと、ファイル容量が異常に大きくなる場合があります。


データのやりとりをするディスクのフォーマット形式は統一してお使いください。通常、Macintosh に内蔵のハードディスクは拡張フォーマットで初期化されているため、本製品でやりとりを行う光磁気ディスクは拡張フォーマットで初期化してください。

 拡張フォーマットで初期化する場合は、FireWire 接続し、Fire Formatter の「拡張フォーマットを行う」にチェックを入れた状態で初期化を行ってください (P37 を参照)。

 拡張フォーマットで初期化する場合は、「ディスクユーティリティ」のフォーマットのタイプを「Mac OS 拡張 (ジャーナリング)」もしくは「Mac OS 拡張」にしてください (P41 を参照)。

? 光磁気ディスクへのデータの書き込み中に、エラーが発生した。


「すべてのリムーバブルディスクドライブで遅延書き込みを行う」がオンになっていませんか。

 「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」「リムーバブルディスク」を選択します。次に、「すべてのリムーバブルディスクドライブで遅延書き込みを行う」のチェックボックスをオフにして、[OK] ボタンをクリックします。

? アイコンの変更ができない。

変更したいアイコンがファイルやフォルダではありませんか。ファイルやフォルダの場合は、以下の警告ダイアログが表示されます。

「選択されたものはボリュームではありませんでした。アイコンは変更されませんでした。」

 「FireWire Utility」フォルダの中の「Yano アイコン」というフォルダにアイコンが収録されています。このアイコン変更はボリュームアイコンにのみ変更が可能です。詳しくは、P39 「ボリュームアイコンの変更について」をご覧ください。

カスタマサポートのご案内

もし、トラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。

弊社では、「カスタマサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてにお願いします。

カスタマサポート専用回線

Tel. (078) 993-0010 Fax. (078) 997-6408
月曜日から金曜日まで（祝祭日、特定休業日は除く）
午前 10:00 ~ 12:00 午後 1:00 ~ 5:00

カスタマサポートの専用回線が混み合っている場合は、しばらくたってからおかけ直しいただくか、下記の電話番号あてにご連絡ください。

ヤノ電器株式会社

〒651-2242 神戸市西区井吹台東町7-3-1 Tel. (078) 993-0007

オンライン情報提供サービスのご案内

弊社では、インターネットを利用して、よりタイムリーな製品情報を提供しています。

- ・製品情報
- ・製品に関するQ&A
- ・ドライバソフトなどのソフトウェアのダウンロードサービス

Web : www.yano-el.co.jp

E-mail : info@yano-el.co.jp

4 製品仕様

METALWEAR シリーズ FireWire 800 MO ドライブ・2.3GB モデル

対応MOディスク	128MB, 230MB, 230MB・OW, 540MB, 540MB・OW, 640MB, 640MB・OW, 1.3GB, 2.3GB	
インターフェイス	FireWire 800(IEEE1394.b) FireWire 400(IEEE1394.a / i.LINK) USB2.0 USB1.1	
インターフェイス コネクタ	FireWire ポート(9pin) × 2 USBポート(タイプB) × 1	
最大データ転送レート	FireWire 800 : 800Mb/秒 (FireWire バス上) FireWire 400 : 400Mb/秒 (FireWire バス上) USB2.0 : 480Mb/秒 (USB バス上) USB1.1 : 12Mb/秒 (USB バス上)	
回転速度	1.3GB / 2.3GB ディスク使用時 : 3,637rpm 1.3GB / 2.3GB 以外のディスク使用時 : 5,455rpm	
ディスクキャッシュ	7.6MB	
平均シークタイム	リード時 : 19ms	
平均故障率 MTBF	120,000時間以上	
定格 (AC100V 50/60Hz)	13.2W	
サイズ	幅 54 × 奥行 243 × 高さ 153 mm	
重量	約1.6 kg	
使用環境	温度	動作時 : 5 ~ 30 保管時 : 0 ~ 50
	相対湿度	25% ~ 85% (結露しないこと)

METALWEAR シリーズ FireWire 800 MO ドライブ・1.3GB モデル

対応MOディスク	128MB, 230MB, 230MB・OW, 540MB, 540MB・OW, 640MB, 640MB・OW, 1.3GB	
インターフェイス	FireWire 800(IEEE1394.b) FireWire 400(IEEE1394.a / i.LINK) USB2.0 USB1.1	
インターフェイス コネクタ	FireWire ポート(9pin) × 2 USBポート(タイプB) × 1	
最大データ転送レート	FireWire 800 : 800Mb/秒 (FireWire バス上) FireWire 400 : 400Mb/秒 (FireWire バス上) USB2.0 : 480Mb/秒 (USB バス上) USB1.1 : 12Mb/秒 (USB バス上)	
回転速度	1.3GB ディスク使用時 : 3,637rpm 1.3GB 以外のディスク使用時 : 5,455rpm	
ディスクキャッシュ	2MB	
平均シークタイム	リード時 : 23ms	
平均故障率 MTBF	120,000時間以上	
定格 (AC100V 50/60Hz)	12.5W	
サイズ	幅 54 × 奥行 243 × 高さ 153 mm	
重量	約1.6 kg	
使用環境	温度	動作時 : 5 ~ 30 保管時 : 0 ~ 50
	相対湿度	25% ~ 85% (結露しないこと)

METALWEAR シリーズ FireWire 800 MO ドライブ・640MB モデル

対応MOディスク	128MB , 230MB , 230MB・OW 540MB , 540MB・OW , 640MB , 640MB・OW	
インターフェイス	FireWire 800(IEEE1394.b) FireWire 400(IEEE1394.a / i.LINK) USB2.0 USB1.1	
インターフェイス コネクタ	FireWire ポート(9pin) × 2 USBポート(タイプB) × 1	
最大データ転送レート	FireWire 800 : 800Mb/秒 (FireWire バス上) FireWire 400 : 400Mb/秒 (FireWire バス上) USB2.0 : 480Mb/秒 (USB バス上) USB1.1 : 12Mb/秒 (USB バス上)	
回転速度	5,455rpm	
ディスクキャッシュ	2MB	
平均シークタイム	リード時 : 23ms	
平均故障率 MTBF	120,000時間以上	
定格 (AC100V 50/60Hz)	12.5W	
サイズ	幅 54 × 奥行 243 × 高さ 153 mm	
重量	約1.6 kg	
使用環境	温度	動作時 : 5 ~ 30 保管時 : 0 ~ 50
	相対湿度	25% ~ 85% (結露しないこと)

FireWire 800 MO Disk Drive METALWEAR series ユーザーズマニュアル

2003年7月11日 第1版発行

2004年11月25日 第5版発行

発行所

ヤノ電器株式会社
神戸市西区井吹台東町7-3-1 (〒651-2242)

落丁乱丁本はお取り替えします。

本マニュアルに記載された製品の仕様、本マニュアルの記載内容等は予告なく変更することがあります。

Apple, Mac, Macintosh, Power Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

Power Mac, iMac は米国アップルコンピュータ社の商標です。

Microsoft, Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載された会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。



ヤノ電器株式会社
www.yano-el.co.jp